

トウガラシの疫病・青枯病複合抵抗性台木

農業総合研究所では（独）野菜茶業研究所育成の疫病・青枯病複合抵抗性台木「トウガラシ安濃4号」について、京都のトウガラシ類に対する接木親和性や、接木栽培時の病害抵抗性に関する研究を進めてきました。本年度は同台木の種苗登録（市販化）に向けた支援のため、京都乙訓・中丹東農業改良普及センター管内において伏見トウガラシ（京都市）・万願寺トウガラシ（舞鶴市）生産農家に試験栽培を依頼しています。

8月7日に普及センター・野菜茶業研究所担当者と現地ほ場の状況を確認したところ、自根株では疫病が発生していましたが、「安濃4号」接木株には発病は認められませんでした。引き続き発病状況等の調査を継続する予定です。



野菜茶業研究所担当との現地調査
（京都市、左うね：抵抗性台木試験区、中央うね：自根株）